

## ちゅらまち公園 生き物のオアシス

那覇市立天久小学校「ザリガニ隊」

1年 満尾 海音

### 1. 目的、動機

#### (1) 目的

- ① まちの公園になぜたくさんの生き物が集まるかを調べる
- ② 季節の変化を調べる

#### (2) 動機

公園で遊んでいると、カメ、ザリガニ、などのたくさんの生き物を捕まえることができ、なぜたくさんの生き物が集まるか知りたくなった。

### 2. 調査方法

- (1) どんな生き物がいるかを採ってして調べ、ちゅらしま自然学校に持っていく
- (2) 池になぜ生き物が生息するようになったかを、公園の管理人に聞く
- (3) ほかの池との比較をする
- (4) 月ごとに池を撮影する

### 3. 結果

#### (1) 捕まえられた生き物

##### ① 捕まえた生き物

ミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニ、グッピー、テラピア、ソードテール、ミッキーマウスプラティール、ヤゴ



- ② ちゅらしま財団で顕微鏡で水を調べると、目には見えない微生物が多数いることが分かった。

また、ハスは水をはじくことが分かった



(2) 管理人に聞いた結果

- ・ 池ができたのは、公園を元気よく遊ぶ場所（広場）と静かに落ち着く場所（池）を作りたかったため、深さ 50cm の池に水を循環させていただけで、生き物はいなかった。
- ・ いつの間にか、多くの生き物が集まる、ハス池になっていた。

(3) 他の池との比較した結果

③ 大川児童公園

- ・ 湧き水を利用しているのので、ちゅらまち公園の池より水がきれいで、生き物が見つけやすい。
- ・ トンボの種類が多くオタマジャクシやメダカはいたが、カメやザリガニはいなかった。



④ 熱帯ドリームセンター

- ・ ちゅらまち公園の池にはハスとスイレンの両方が生えていることがわかった。
- ・ 切れ込みがあるのがスイレンで、切れ込みがないのがハス。
- ・ 泥の環境（栄養の多さ）でハスの成長に差が出る。
- ・ 泥水が葉につくと、葉は息ができなくなるので、葉が水をはじき葉をきれいにすることは、ハスが成長するためには大切なことだとわかった。
- ・ ちゅらまち公園には、たくさんの生き物がいるため、その生き物のうんちや死がいが、ハスの栄養になることが分かった。



⑤ 東南植物園

- ・ ハスやスイレン以外にもパピルスの葉などが成長していた。
- ・ パラグアイオニバスなどハスにもいろんな種類があることが分かった。



(4) 月ごとのちゅらまち公園の様子を撮影した結果

夏場は水草が生い茂っていたが、冬場は水草が枯れていっている。



#### 4. まとめ

- (1) 町の小さな池でもハスなどの植物と池に住むたくさんの生き物がお互いに助け合って生きていることが分かった。
- (2) 生き物だけだと水が汚れ生きにくいし、水草だけだと栄養が足りず生きにくい、両方揃って初めてお互いが生きやすいオアシスになる。

#### 5. 考察

- (1) 家で生き物だけを飼った時はすぐに死んでしまうけど、水草と一緒に飼うと長く生きやすい。
- (2) ハスの葉が枯れた季節でも生き物は生き続けるのか今後継続して調べたい。